

# 多世代が集い、交流し、活動が生まれる『新しいまちのシンボル』

## 1 階屋上公園

図書室、カフェ、学習スペースに隣接し、読書や散策も楽しみながら、ゆったりと過ごせる庭園空間



※事業者提案時のイメージであり、今後の設計等により変更となる場合があります。

## 2 階屋上公園

遊具で子どもたちが遊べるスペースと、日差しを避けられるパーゴラやベンチを備えた見守りスペースで構成する、開放的な遊び空間

## 図書室・カフェ

テラス席、立体公園、学習スペースなどと連携し、相互利用が可能な図書室  
カフェスペースを設け、飲食を楽しみながらくつろげる、居心地のよい滞在空間



## 地上公園

四季の移ろいを感じられる緑の空間で、イベント利用と防災機能を両立するオープンスペース



## 地域子育て支援センター・プレイルーム

幼児や児童及びその保護者が利用しやすく、居心地のよい居場所となるような滞在空間

## 東北出張所・防災倉庫

マルチコピー機による証明書発行やオンライン相談窓口の導入などの行政サービス機能、指定緊急避難場所相当の備蓄機能を配備

## 学習スペース

個人で読書や学習ができるスペースに加え、簡単なミーティングや歓談等が行えるオープンスペース

## ギャラリー

展示以外にも活用できるよう、可動間仕切りにより多目的に利用できる機能を備えたギャラリー空間

## 多目的ホール・多目的室

可動間仕切りにより分割利用も可能で、ダンスや軽運動、ミーティングなど、多用途に利用できる空間

## スタジオ

防音性を確保し、本格的な楽器演奏やコーラス、吹奏楽の練習等が可能なスタジオ空間

旧ほっとぶらざ閉館に伴い、東北出張所及び図書館サービススポットを東北コミュニティセンターに設置し暫定運用してきましたが、同センター及び隣接する三軒屋自転車駐車場の老朽化等を踏まえ、施設の複合化・集約化・再配置を進めることで、(仮称)三軒屋公園等複合施設を整備します。本事業では、立体都市公園制度を活用し、効率的・効果的な土地利用を実現します。整備後は、複合施設としての一体的な運営により利便性を高め、民間活力の導入を通じて市民サービスの充実を図ります。子どもから高齢者までが日常的に集い、交流し、活動が生まれる『新しいまちのシンボル』を創出し、地域の活性化とにぎわいを創出する拠点を目指します。



## ■施設の概要

所在地：新座市東北2-28-5  
複合施設：鉄筋コンクリート造  
地上2階・地下1階建 約2,300㎡  
都市公園：約2,330㎡(地上+屋上)

## ■事業費

設計・解体・建設	28億8,200万円
維持管理・運営(15年間)	21億1,689.5万円
合計	49億9,889.5万円

新座市総合政策部  
(仮称)三軒屋公園等複合施設整備推進室  
TEL 048-485-8671